

「大阪国際感染症研究センター(仮称)」構想の概要

新型コロナウイルス感染症の大流行は、**感染症**が世界中で人々の生活を一変させるほどの影響を及ぼす**重大な健康危機事象**、**人類の脅威**であることを示した。**2025年大阪・関西万博**を控える中、世界的な拠点都市をめざす大阪は、**現下の感染拡大にしっかりと対策**することはもとより、**都市としての感染症への対応力(レジリエンス)**を高めることが不可欠。



大阪府・大阪市として、大阪公立大学において、アカデミアの知を集結して、大阪の感染症対策を支える拠点形成をめざす(開学前の令和3年度からバーチャル体制でスタート)

(設置趣旨)

感染症対策について、行政等と連携・補完しながら、アカデミアの立場から構築・提言する拠点

平時 研究に裏打ちされた**エビデンスに基づく対策の検討**、対応能力のある**人材育成**、産学官の**ネットワーク形成**、海外連携機関からの**感染症情報の収集**

有事 パンデミックに対峙すべく医学、獣医学のみならず、理系・文系の垣根を超え、法学、経済学、社会心理学など**社会科学的観点も含めた学際的な総合知(社会を対象とする「マクロ感染症学」)**を結集して健康危機事象に対応し、**行政(大阪府・市)の政策決定を科学的エビデンスに基づいて支援**

(センターの機能)

① 科学的エビデンスに基づく政策支援・提言機能

現下の新型コロナウイルス感染症対策の調査研究とそれに基づく助言・提言

平時 感染症に強い都市づくりの実現に向けた調査・研究

(取組例) 感染症に関する人材の育成、有事における社会資源の適正化に向けた研究、社会科学的な観点を含めたデータサイエンスに基づく予測・解析手法の検討、医療機関・施設でのクラスター対策の確立、感染防止策による経済的影響の評価手法及びリスクコミュニケーション手法の検討 等

有事 パンデミック対策と社会活動維持の最適解に向けた助言・提言

(取組例) パンデミック時の事象に応じた府民への社会行動等の助言、データサイエンスに基づく感染予測・解析、感染拡大時における経済的影響の評価・リスクコミュニケーションの導入に関する提言 等

② 国際的な視野での研究・教育機能

2025年大阪・関西万博を見据え、感染症への対応力(レジリエンス)を有する世界的な拠点都市形成への貢献

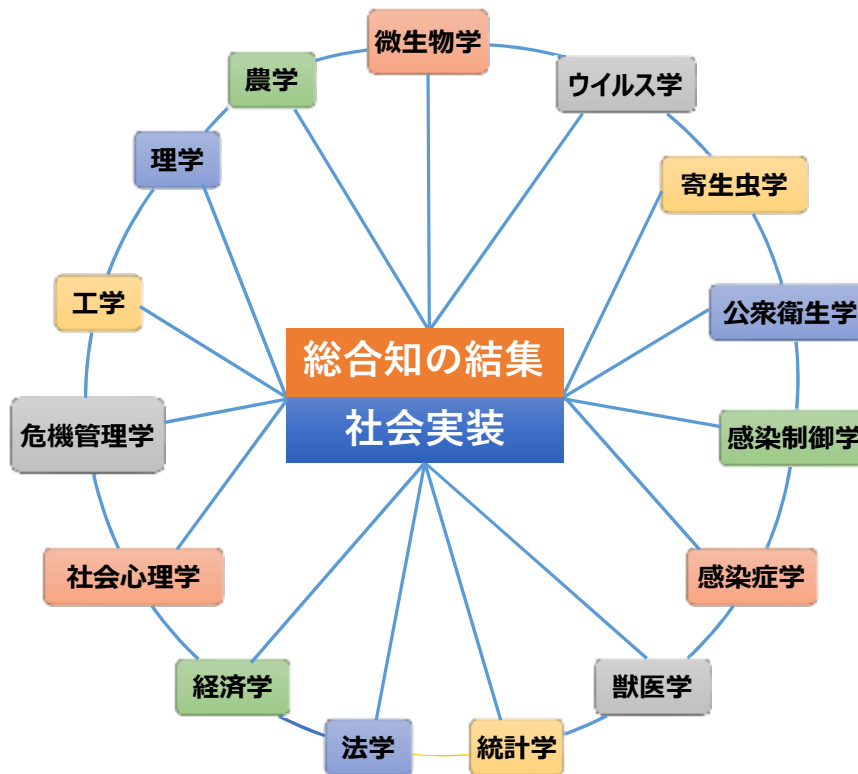
(取組例) **2025大阪・関西万博**における感染症対策への寄与、新規診断・治療薬・機器の開発、未知病原体の探索システム・感染制御手法の確立、国際的な専門人材の育成・協力 等

イメージ図

大阪府・大阪市

感染症が社会生活および健康に及ぼす影響を最小化するため、
理系・文系、産・学・官の総合知による“最適解”の提案

大阪国際感染症研究センター（仮称）



研究展開の例

- 計測科学分野** 新型コロナ等感染動態を把握するための免疫および分子（遺伝子）疫学研究
- 合成生物学分野** 新規治療薬・診断薬開発
- データサイエンス分野** 社会心理学などの社会科学的なデータを含めた多様なデータ統合の基盤構築とAIによるデータ解析
- 人獣共通感染症動物研究分野** 新興感染症・人獣共通感染症の研究
- 危機管理分野** 危機管理学や経済学なども活用した新たな生活における感染防御と経済活動のバランスのとれた行動様式の研究
- グローバルヘルス分野** 流行地に軸足を置いた研究基盤構築